

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和3年3月25日

事業所名：フレンズポートふなおか

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指導訓練室は66.4㎡あります。相談室と事務室も児童の利用時間中は活動場所として開放しています。また、児童の要望に応じて、外遊び(施設敷地内)も積極的に実施しています。 お子さまそれぞれがそれぞれにお気に入りの居場所(支援環境下でのカームダウンの場)をみつけて過ごす中で、事業所の敷地のみで過ごすという制限はなく支援しております。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			平日は4～5名の職員を配置しています。今後も引き続き研修等の実施により、スタッフ各々の資質・支援力の一層の向上に努めてまいります。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			安全点検を定期的実施しており、その際にもご利用のお子様皆様が過ごしやすく活動しやすい環境という視点でも点検し随時整備しております。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			日々の支援内容・業務に関しては、幅広く意見を集め、支援会議等の場も活用しながら、より良い支援の在り方に向かってスタッフ全員で取り組んでいます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			昨年度同様、今年度についても実施いたしました。その結果を令和3年3月25日にHPにて公表します。今後、いただいたご意見を業務改善につなげていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			令和3年3月25日にHPに公開します。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、第三者機関による外部評価は実施しておりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			新潟県中東福祉事務組合としての研修のほかに、事業所内でもスタッフ全員が出席する月1回の支援会議の場を利用して支援のスキル向上についての勉強を定期的に行っております。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			事業所独自のアセスメント表に基づき、保護者様・お子様への聞き取りと行動観察を行い、さらにお子様の将来を意識して今必要なこと(身に付けたい力)を反映した計画を作成するようにしています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	現状、標準化されたアセスメントツールは使用しておりません。より個々の特性や能力にあった支援を展開していけるよう、今後は標準化されたアセスメントツールの導入を検討していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			支援スタッフの意見も取り入れながら、児童発達支援管理責任者と保育士とでプログラムを計画しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			フリーな環境下でそれぞれのお子様好きな活動を見つけ、やりたい活動をそれぞれが自分で選択することを基本的なプログラムとしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	それぞれの開所日に応じて、支援の展開、プログラムの工夫は行っていますが、課題の設定よりも「お子様がいかに楽しめるか・その楽しみからお子様は何を得ることができるか」ということに重点を置いています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団での活動プログラムを基本とし、その上で個別活動に重点をおいた計画を作成しています。

適切な支援の提供	⑮	支援開始前には必ず職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		当日の利用児童や職員の動向(会議出席等含め)を確認しています。行事などが予定されている際は、役割分担や諸々の留意事項についてもスタッフ全員が確認してから業務にあたっています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等共有しているか	○		その日行われた支援の中で、気づいた点や確認すべき点があればその日のうち共有するようにしています。支援終了後に関わらず、その場もしくは後日思い出した場合でも、いつでも話し合いをできる雰囲気づくりに努めています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		利用時間や支援の提供・内容についてなど、利用実績に関わることに記録を残しています。また個別ではヒヤリハット・ニコリホットも含めた支援に繋がる記録づくりを意識して取り組んでおり、過去と現在のお子さま各々の様子を確認することなど、支援の方向性への判断などに役立っています。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的モニタリングを実施していますが、定期にこだわらず児童の状態や発達段階に応じて、その都度の計画の見直しをはかっていく必要があると考えています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		「自立支援と日常生活の充実のための活動」と「余暇の提供」に重点をおき支援を展開しています。
関係者や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が毎回参加しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校との定期的な連絡会(月1回)の開催や毎日の交流(学校と隣接している)の中で、随時必要な情報の共有に努めています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在は、医療的ケアが必要な児童の受け入れが可能な体制(看護師の配置)になく、受け入れは実施していません。報酬改定の内容にもあるよう、国の方針に加え『五泉市 医療的ケアを必要とする児童の支援に関する情報交換会』に今年も参加し動向は把握しております。今後においても障害児通所支援事業所として地域課題に取り組んで行くことができるよう努めていきます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		就学前に保育所等での様子を見学させていただくとともに、児童の理解を深めるための情報共有の機会(療育部会等)にも参加させていただきながら相互理解に努めています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		事業所で実施していた支援の内容と経過、ご本人への配慮事項など引き継ぎを行っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		今年度においても市の各専門機関と事業所とで個別ケースに関する連携を行い、専門機関の開催する研修にも参加していました。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	これまでは実施できていません。保護者等からの意見も参考に、今後、そのような機会を提供していけるかどうかも視野に関係機関との連携に努めてまいります。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		専門部会の委員として五泉市の協議会に参加しています。
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		共通理解のもと児童に関わっていけるよう、お迎え時には事業所での様子のご家庭での様子の情報共有に努めています。	

	⑳	保護者の対応能力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		これまでのところ、ペアレント・トレーニング等の専門的な支援は実施していません。ご家庭での対応に苦慮されている保護者様へは、標準的な対応方法をお伝えした上で、より個別的な対応について一緒に考えています。
保護者への説明責任	㉑	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約の際に、丁寧な説明を行うよう心がけています。
	㉒	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談を受けた際には、事業所での助言はもちろんのこと、担当の相談支援専門員・関係機関とも連携し対応しています。
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在、そのような支援は実施しておりません。
	㉔	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情対応の体制は整備しております。また、体制については利用契約の際に、児童や保護者様に周知しています。
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概況や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、活動の様子や行事予定等を記載した「おたより」を発行しています。
	㉖	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○			文書については新潟県中東福祉事務組合の規程に順じて取り扱い、保管を行っています。また、職員のプライベートな時間・場所においても、業務上知り得た情報について口外することのないよう指導を行っています。
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			意思疎通、情報伝達の配慮として、視覚的な情報の提示、絵カードや50音ボード、ハンドサインなど非言語でのコミュニケーションの保証、簡潔で具体的な言葉かけなど実施しております。またPECSをはじめ様々なAAC（拡大・代替コミュニケーション）について関心を寄せて支援に取り入れられるよう取り組んでおります。
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			事業所単位での実施ではありませんが、当組合施設全体の行事（盆踊り大会・さいの神等）を毎年開催しており、地域との交流を図っています。
非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか			○	各種マニュアルを整備し、職員への周知は行っています。保護者へそのマニュアルを周知することまではしていませんが、そのマニュアルに準ずる保護者に必要な情報（感染症対策等）は随時周知しております。
	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月、各種非常災害を想定した避難訓練を実施しています。また避難だけでなく、訓練用の水消火器を使用した初期消火の訓練も定期的に行っています。
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止に関する園内・園外研修に参加するとともに、適切な支援方法について学ぶ勉強会も定期的に行い、スタッフ全員の意識と支援スキルの向上に努めています。
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	これまで身体拘束を実施したことはありません。なお身体拘束を行う場合については、児童や保護者、主治医の了解を得た上で組織的に決定し、計画にも記載をします。
	㉝	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	現在、該当する児童の利用はありませんが、今後利用を受け入れる場合には、必ず主治医との連絡体制は整える必要があると考えています。
	㉞	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットについては記録にまとめております。またその事例一つ一つを随時検証し対策を講じることにより、ヒヤリハットの再発とそこからつながる事故防止に努めております。